

若手パワーアップ塾 アンケート(第4回 寺沢功先生、五十嵐博一先生、加藤秀一郎先生(モットマクドナルドジャパン))

2017/5/17 開催、出席者:若手PU15名、ゼネコン有志10名、公募枠3名、オブザーバー1名 計29名、回答数25

STEP1

[詳細を見る >](#)

第4回若手パワーアップ塾(5/18、Mott MacDonald; 寺沢功氏、五十嵐博一氏、加藤秀一郎氏)にご参加いただきまして、ありがとうございました。若手パワーアップ小委員会では、土木学会全体の品質向上のための制度作りを考えています。つきましては、アンケートにご協力いただきますよう、お願いします。※注意!回答中に前のステップ

STEP2

[詳細を見る >](#)

1. 質問者の属性について1.1 所属先を教えてください。

1 建設業		17
2 建設コンサルタント		3
3 学校・学会		1
4 官庁・独立行政法人		1
5 その他		3

JR、製造業・その他民間、地方公共団体 各1

STEP3

[詳細を見る >](#)

1.2 年齢を教えてください。

1 35-39歳		9
2 30-34歳		6
3 40-44歳		6
4 25-29歳		2
5 その他		2

45-49歳 2

STEP4

[詳細を見る >](#)

2. 若手パワーアップ塾への参加について2.1 参加回数を教えてください。

1 3回目		9
2 4回目		9
3 2回目		4
4 はじめて		3

STEP5

[詳細を見る >](#)

2.2 若手パワーアップ塾への参加について教えてください。(複数選択可)

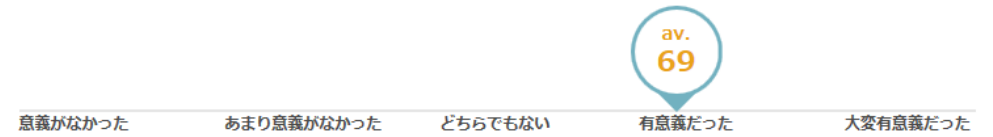
1 次回も積極的に参加したい。		20
2 メンバーに会うのが楽しみである。		10
3 次回の若手パワーアップ塾が楽しみである。		9
4 所属組織にフィードバックしたい。(今はしていない)		6
5 その他		4

- ・参加は業務の一環である。 2
- ・すでに所属組織にフィードバックしている。 2

STEP6

[詳細を見る >](#)

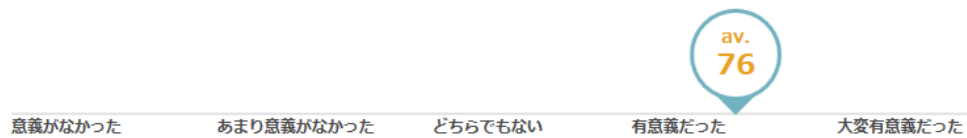
3. 講義について3.1 講義内容について教えてください。①寺澤 功 氏の講義内容について



STEP7

[詳細を見る >](#)

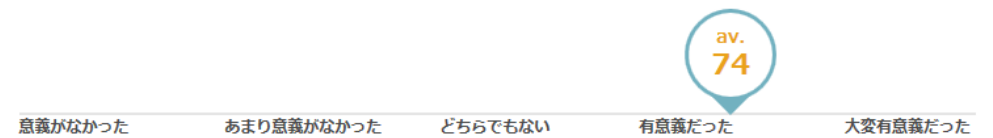
3.1 講義内容について教えてください。②五十嵐 博一 氏の講義内容について



STEP8

[詳細を見る >](#)

3.1 講義内容について教えてください。③加藤 秀一郎 氏の講義内容について



STEP9

[詳細を見る >](#)

3.2 講義で印象に残ったことを教えてください。（講義に参加していない方は「欠席」と回答してください。）

STEP10

[詳細を見る >](#)

3.3 もっと知りたいと思ったことを教えてください（任意）

STEP11

[詳細を見る >](#)

3.4 講義についての自由意見（任意）

STEP12

[詳細を見る >](#)

4. ディスカッションについて4.1 ディスカッション量について教えてください。

av.
56

十分すぎた

ちょうどよかった

もっと討論したかった

STEP13

[詳細を見る >](#)

4.2 グループの人数について教えてください。

av.
49

人数が少なすぎる

ちょうどよかった

人数が多すぎる

STEP14

[詳細を見る >](#)

4.3 ディスカッション時、自分の思ったことや考えをどの程度発言できていますか。

av.
68

0%

50%

100%

STEP15

[詳細を見る >](#)

4.4 より積極的に発言するための工夫があれば提案してください。（任意）

STEP16

[詳細を見る >](#)

4.4 ディスカッションに対する自由意見（任意）

STEP17

[詳細を見る >](#)

5.研修内容について5.1 下記のような内容の場合、参加したいですか。

1 参加したい		24
2 参加したいが難しい		1
3 どちらでもよい		0
4 参加したくない		0
1 参加したい		13
2 参加したいが難しい		11
3 どちらでもよい		1
4 参加したくない		0
1 参加したいが難しい		13

STEP18

[詳細を見る >](#)

5.2 全問で「参加したいが難しい」と答えた方について、差支えなければ「難しい」理由をお答えください。

STEP19

[詳細を見る >](#)

5.2 その他自由意見（任意）

STEP20

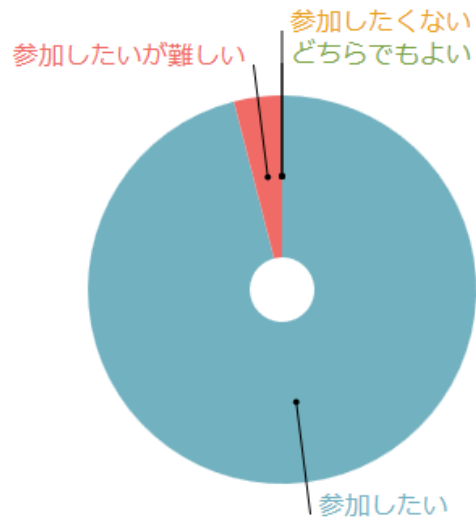
[詳細を見る >](#)

ご協力ありがとうございました！

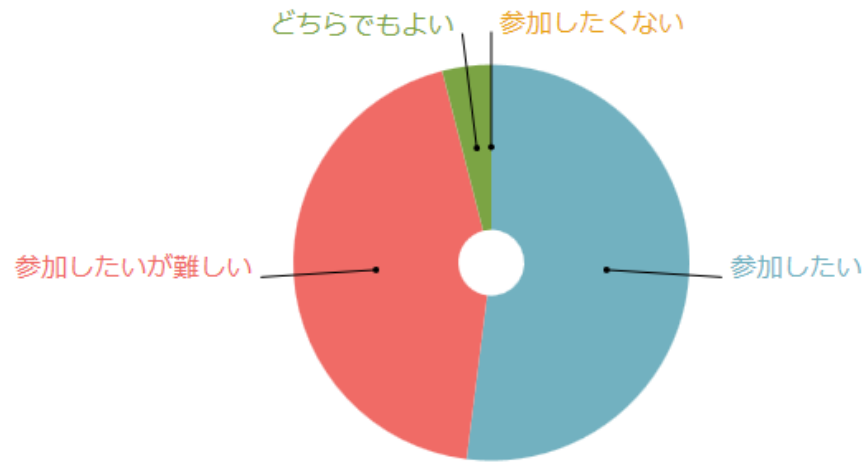
講義で印象に残ったこと
プロジェクトファイナンスの簡単な仕組み
グローバルに活躍されているなど思いました。
プロジェクトファイナンスの仕組み。イチローの夢の話。
建設に関する知識を必要とする業態の存在
プロジェクトファイナンスの仕組みについての理解が深まった。会社のP/Lに巨額の借入金を計上しないで済むという財務的メリットがある一方で、プロジェクトの確実な進捗がマストなので、実際に借り入れする際には、プロジェクトの進捗に余裕を見なければならぬとも思った。
自分のやりたいことがあって、実現できる環境で活躍されていることに、いいな思いました。
プロジェクトファイナンスの実態について聞いたこと
プロジェクトファイナンスという概念が日本でも普及し、新しい事業体系として浸透してきているという事実
内容が漠然としていた気が…
講義時間の制約もあるが、もう少し実態についてお話をしていただければありがたかった。
今ある地位を捨てても、新しい発展性のありそうな分野にチャレンジされたこと
夢について改めて考えたこと
プロジェクトファイナンスの基本的な部分をレクチャーしていただき、勉強になった。
プロジェクトファイナンスの仕組みと、そこに関わるアドバイザーという職種を初めて知った。
プロジェクトファイナンスについて勉強になった。グループワーク後の発表で楽しい発表をした班があったのが印象的だった。
これからはインフラも民営化が必要
プロジェクト・ファイナンスという業務形態があること。
マックジャパンで一緒に働かないか？ という方向性を感じるプレゼンだなあと思いました
ある程度の経験を重ね、年齢もそれなりになってからの転職して活躍されている そのモチベーションに感服しました。
海外市場の規模について
同じ業界でも、知らない用語が多く未知の分野を知ったこと。
・岡山県瀬戸内市での『瀬戸内キレイ太陽光発電プロジェクト』等、数多くの大規模なプロジェクトに参画され、実績があること。・PFIやコンセッションについて・『私の夢』についての講義
多様な案件への関わり方がある事を知れた。
レバレッジ効果のような金儲けの仕方がある事を知れたこと。
戦後復興におけるイギリスでの事業民営化の経緯とその結果の捉え方

もっと知りたいと思ったことを教えてください（任意）
コンサルタントとしてのプロジェクトファイナンスに関する判断手法
プロジェクトでのリスク分担について。
海外の空港プロジェクトについてもっと知りたいと思った。
プロジェクト次第だとは思いますが、設計変更に伴う増額についてはどのように備えているのかについて、お聞きしたかったです
事業を実施するにあたって、出資者（銀行等）を確保する手段
もう少し具体的な業務の内容と、今後の国内でのプロジェクトファイナンスの展望や推測について聞きたかった。
横文字が多かったのでそれらの勉強が必要
今回は特にありません
悩みやモチベーションの維持の秘訣など。
今後予定されているプロジェクトや、取組み（姿勢）について
・社員構成（生え抜き、途中入社、業種）
講義内で出た契約の勉強をしてみたい。

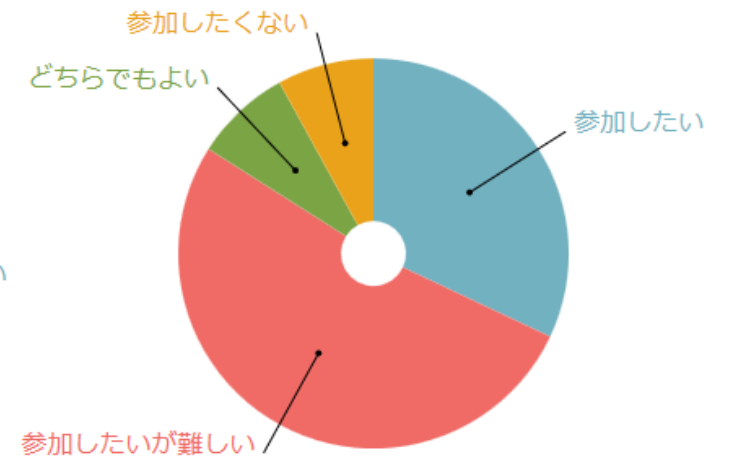
より積極的に発言するための工夫があれば提案してください。(任意)
現状のグループワーク方式でよいと思います。グループの中で司会進行役を決めて、討議を進めるとテキパキした議論になるように思います。
業種のバランスが大事だと思います。
課題のテーマが曖昧だと発言しにくい。もっと具体的なテーマでも良いのでは。
事前に課題を提示する等
今回のようにテーマは決めた方が話しやすい。
1グループの人数が少なくなれば、発現する機会と時間が増えるが、少なすぎるとディスカッションできなくなるので、1グループ4人程度が良いと思う。
みなさん十分積極的であったと思います。
互いの実務経験等を予め知っていると発言やリアクションをしやすいと思う。



現場見学(近場)



現場見学(遠方)



合宿形式の講習

「難しい」理由
会社の理解が得られにくい。
お金をかけてまで行く価値があるのか？という費用対効果の面で職場の理解を得られない可能性がある。
業務の都合によります。繁忙期でなければ参加可能です。
育児のため
業務の都合 遠方での現場視察や講習のみとなると、自費での参加となるため
会社の説得
宿泊しての研修は時間的に難しいと思われる。
遠方や宿泊を伴う合宿は、業務の都合上、時間を作ることが難しいので参加できるかどうかは、その時にならないと分からない為。
業務との調整が難しいと思われ、休日を活用するのならば参加しやすいです（金曜午後集合など）
会社の理解が得られない。明確に否定はされないと思うが、業務の成果はどうなっているという雰囲気になると思われるため。
業務の調整
業務の調整と費用がかかるため
・会社の都合
日常業務との兼ね合い

5.2 その他自由意見（任意）

特にありません。

海外（特に高齢化の進む先進国）での人材育成手法について聞いてみたい

・今しか見れない大型工事の現場見学に行きたい。